

動物臨床栄養学

VT コース専門科目 2年 前期・後期 50時間 3単位 講義

講師 藤田圭佑

実務経験のある授業科目	有
実務経験の内容	動物病院における動物看護・受付・診察補助業務
学科・クラス指定等	ベテリナリーテクニシャンコース2年
学習目標	ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌法など臨床栄養学を修得する。
学ひのキーワード	5大栄養素 ライフステージ BER RER DER 給餌計算 肥満 消瘦 BCS 総合栄養食 療法食 強制給餌 経管栄養法 静脈栄養法
準備学習及び復習の内容・履修条件	事前に教科書を読んでおくこと。各授業後のノートの内容を復習すること
授業方法	全ての講義はホワイトボードを利用して板書される。必要に応じて資料を配付するが、教科書に基づいて行う。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。必要に応じて、段階的な理解を深めるために中間試験を実施する場合もある。
成績評価基準	試験において、学びのキーワードを理解していること。講義への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。
備考	動物看護の教科書4巻（緑書房）
授業回数	
1回	犬猫の栄養素の違い ペットフードの表記
2回	食事を与える際の注意①（食事の工夫）
3回	食事を与える際の注意②（与え方）
4回	ライフステージ別での食事管理 犬 猫
5回	BCS カロリー計算 エネルギー要求量について
6回	フードによる給与回数・方法 犬猫の加齢性変化について
7回	療法食 疾患別による栄養特性（下部尿路疾患 特発性膀胱炎）
8回	疾患別による栄養特性（尿路結石）
9回	疾患別による栄養特性（皮膚疾患）
10回	疾患別による栄養特性（アレルギー）
11回	疾患別による栄養特性（肥満）
12回	疾患別による栄養特性（下痢 便秘）
13回	疾患別による栄養特性（心臓病）
14回	疾患別による栄養特性（慢性腎臓病）
15回	疾患別による栄養特性（糖尿病）
16回	疾患別による栄養特性（肝臓病 関節疾患）

